

## 国際オートメカニク科

時期	国際科2年後期	単元	実習	教科名	ユニット脱着	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	二級自動車シャシ		発行日	2025年4月22日
			日産3級電装テキスト			
総時限	33時限 (52時間)				教科担当	教科担当

## 1. 実務経験のある教員による授業科目

該当

非該当

自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの分解・組立・点検等について指導する。

## 2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)

1. F R車用のトランスミッション (A T車) の脱着方法を整備要領書通りに行い、習得する。
2. トルクコンバータの脱着、A T車の安全装置を理解できる。
3. A Tフルードの油量及び状態点検方法を習得する。また、その説明ができる。
4. A/C部品の脱着手順を理解する。
5. ゲージマニホールドの取り扱いを理解する。
6. A/Cガスの回収と充填方法を理解する。
7. A/Cの性能試験を理解する。

## 3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか)

1. オートマチック・トランスミッションの脱着手順がわかる。
2. オートマチック・トランスミッションを構成する部品、構造やその作動が説明できる。
3. 重量物の取り扱い、危険予知、対策ができる。
4. 作業における整理整頓ができる。
5. A/Cコンプレッサの脱着ができる。
6. ゲージマニホールドを正しく取り扱う事ができ、数値を読みとる事ができる。
7. 冷媒の回収及び充填作業ができる。
8. A/Cの性能試験で良否判定ができる。

## 4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)

実技試験70点、行動評価15点、レポート評価15点の合計点で評価する。  
60点以上で合格とする。

## 5. 準備学習

二級自動車シャシ・日産3級電装テキストのA/C分野を事前に読み込んでおく事



2025年度

授業計画

## 国際オートメカニク科

時期	国際科2年後期	単元	実習	教科名	ユニット脱着
----	---------	----	----	-----	--------

## 7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	A/T脱着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整理整頓を心がけ、班員全員で危険予知を行う。</li> <li>※ATFの床汚損、スリップに注意する。</li> <li>・ ミッションジャッキ作業時に各部品の落下を防止すると共に、上げ過ぎによる車両浮き上がりに注意する。</li> <li>・ A/Tのバリなどによる受傷防止に注意すると共に、作業台上を移動させる際の挟み込みに注意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マフラー取り外し時、右手小指骨折</li> </ul>	
2	バッテリー接続時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スターター B 端子誤接続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バッテリー端子接続と同時に車両ハーネス焼損。B 端子を間違えてアースに接続していたため。</li> </ul>	
3	油量点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エンジン各部が高温になっている為、火傷に注意する。</li> <li>・ ATFの排気系への垂れ厳禁</li> </ul>		
4	クーラーガス充てん	<p>高圧バルブが閉じていることを確認後に充てんを開始させること。 サービス缶の取扱注意事項を遵守させること。 充てん中は高圧バルブを開けないことを徹底すること。</p>	<p>高圧バルブが開いている状態で、ガス充てんしたためコンプレッサが破損した。</p>	
5	輪止め	<p>実習車両に輪留めを掛ける。</p>	<p>不意に車が動き出し、構内で接触事故を起こした。</p>	

## 8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

実習場	座学教室